



社会医療法人 葦の会 オリブ山病院

ご自由にお取りください

# オリブ山たより

O R I B U Y A M A T A Y O R I

冬号

2023.12 No.81  
社会医療法人 葦の会 広報誌



Caféわきみずでゆっクリスマス

- ② おじゃまします／石嶺団地自治会
- ④ 島しょ診療レポート／粟国島編
- ⑤ 精神科リハビリのご紹介  
／精神科リハビリ課
- ⑥ 病棟Eye／外来部門のご紹介

- ⑥ 地域WORLD  
／介護老人保健施設オリブ園 広報の取り組み
- ⑦ 愛だより／きよしこの夜 誕生ストーリー
- ⑦ Caféわきみず通信  
／Caféわきみずでほっと一息カフェタイム



オリブ山病院HP

● お好きなドリンク1杯  
プレゼントクーポンあり



傷ついた葦を折ることなく、ほのぐらい灯心を消すことなく、眞実をもって道をしめす。(イザヤ書 42章3節)

（語り手） 石籠田地自治会 会長 白玉 信助氏

※インタビュー内容は一部編集しております。



から、現在そして未来について、お話を伺いたいと思います。

石嶺団地は、那覇市の北東部で西原町に隣接した位置にあり、本土復

帰する前に建設されて多くの方が  
住み続けているマンモス団地です。  
現在、老朽化した団地の建替事業が  
進められており、石嶺町の新しい顔  
となっています。

くにある石嶺団地自治会事務所へおじやまして、自治会長の白玉信助

卷之三

A portrait of Shigeharu Shirayama, a middle-aged man with grey hair, wearing a light-colored button-down shirt. He is looking slightly to his left with a neutral expression. The background is a plain white wall.

運動不足で「膝が痛い」「腰が痛い」などの訴えが多く聞かれました。石領団地内には、住民同士が集まって運動をする場所（A2棟 団らん室）があるのですが、コロナ禍により利用人数や使用時間を制限して利用するなど、さまざまな行事活動が制限されしていました。

私たちオリーブ山病院は、2022年から団らん室で出前講座を行わせていただきました。白玉会長がおっしゃったように、出前講座に参加した団地の住民の方からも「コロナ禍で身体が弱った」という声を多く耳にしました。そのなかで、あまり外に出る機会の無い独居高齢者や特に安否に不安のある住民の方が住むお部屋への見回りをする仕組みが「石嶺団地 見守り隊」ですね。その見守り隊についてお聞かせください。

那覇市社会福祉協議会が主催して始まつた見守り隊との関わりは、私はまだ3年くらいです。自治会長になる前から石嶺団地では棟内での見守り活動は長くやつていました。見守り隊の活動は、各棟の代議員が気になる住民の方をリストにあげて、戸別訪問を行うのですが、特に一人暮らしの女性でしたら、男性訪問者の呼びかけにはなかなか開けてくれ

**Q** 石嶺団地の建て替え工事の進捗状況、ならびに、石嶺団地自治会事務所の建て替え工事。これから新しくなる石嶺団地について、自治会長の視点で、どのような自治会活動を行っていきたいでしょうか。



### 出前講座内で実施した歩行計測の様子

れません。女性の方が「自治会から  
来ました、○○さん」と呼びかけた  
らドアを開けてくれるんです。自治  
会活動の運営は、私のような男性だ  
けではなく、女性の方も携わること  
で成り立っています。見守り隊の任  
期は1年で、基本は毎年交代する仕  
組みですが、継続して続けてくださ  
る方もいらっしゃいます。

設立初期から、名棟に代議員やそ  
がいて、そもそもな問題を解決して  
くれていました。当時、石嶺団地は世  
帯収入の高くないう方が暮らせる」と  
を目的としていたため、充分な駐車  
スペースが確保されていなかつた。互  
いに喧嘩しないよう、棟ごとで代議  
員さんがうまく調整してくれまし  
た。代議員を中心に、それぞれの世帯  
主である大人からその子どもまで、  
季節」とのイベンメントから、棟で抱え

**Q 石嶺団地自治会は1970年6月に結成され、今年で53年になります。石嶺団地が建築されたのは1970年頃。白玉会長が住み始めた当時の石嶺団地の様子、自治会活動などをお聞かせください。**

私が石嶺団地に住み始めたのは、1983年頃です。当時は自治会活動がとても活発でした。1棟から35棟までつて石嶺団地のまつり、棟ごとの子ども会、棟対抗の運動会を城北中学校グラウンドで行っていました。バーボン大会、野球大会、た



石嶺団地自治会事務所内の敬老会(1994年)

ある問題などを  
束を固めて取り組んでいます。それが  
石嶺団地の自治会活動でした。

を装着し人数を制限しての話し合いで、充分な行事計画の話し合いもできなかった状態でした。

本来、団地内のイベントなどの行事といつものは、住民同士が結束を固めていく絶好の機会です。その機会を作るのが自治会活動の役割なのです。ですが、コロナ感染がまん延したなかでは、そういう取り組みが行えず、とても苦労しました。

この3年間の自治会活動停滞により、高齢者が多い団地住民の間では、



## 自治会長と事務局員



## 石嶺団地の昔(上)と今

体が始まりました。新しく、B4棟とB1棟が建設されます。B4棟は廿世帯数が一番多くて1の5世帯となります。そして、最終的に石領団地全体では1-152世帯が住めるマンモス団地になります。那霸市内では一番大きな規模です。これだけの規模の世帯数をまとめるのは、自治会長や役員だけでは限界があります。これからも各棟の代議員が中心となって、各棟の自治を運営管理することが求められます。自治会より、各棟をまとめる代議員さんがあつての団地の自治なんです。私たち自治会運営側は、その代議員さんからいろいろな情報をもらい、それを行政へ中継ぎして、団地に必要なインフラ整備や団地内のさまざまな悩みを解決し

石嶺団地の各棟の代議員さんや石嶺団地自治会長さんをはじめとする自治会運営の方々の日頃の努力があり、50数年にわたって築きあげられた石嶺団地の歴史を知ることができました。特に、石嶺団地住民の方々の高齢化に伴い、見守り隊が行っていく支援だけではなく、近隣にいる私たち医療法人が、住民の皆さんの困りごとを手助けできることもまだ多くあることが分かりました。少しでも石嶺団地住民の方々が気軽に相談



てじく役割を担っています。これからも代議員さんと連携を取り、住民の皆さんが住みやすい自治会活動を行っていきたいです。

のご協力を頂き、  
ありがとうございました。

# 島しょ 診療レポート

栗国島編

オリブ山病院島しょ診療科

石田 肇(精神科医)



宮城道夫医師に代わり、2023年4月から栗国村巡回診療を担当している石田肇です。よろしくお願いいたします。7月までは順調に訪問し、診療が出来ていましたが、8月に入り、台風の影響で、2回訪問出来ていません。やはり、離島交通は波浪の影響を受けやすく、医療のみならず、村民の生活自体が大変であることを実感しています。



栗国村役場保健師室から旧保健師室へ移動中  
(中村医師と)

到着後、レンタカーを借りて、役場の中にある保健師室に向かいます。13時に診療所の新村医師、末吉保健師らと会い、診察する患者さんの状況をお聞きします。その後、保健師室で診療をしたり、ご自宅に訪問して診察します。合間に、オリブ山病院に入院中の患者さんのご家族ともお会いします。18時には終了し、宿に向かいます。その前に飲み物を買うことを見ました。栗国には、ブチホテル



栗国村役場保健師室での診療

が1件、民宿が数件あります。どちらも食事が美味しいです。  
翌日、5時起きで島中を歩きます。栗国はハブが多い島です。もともとはハブが生息しておらず、持ち込まれたようです。暗い中歩いているので良く分かりませんが気をつけます。9時から、訪問診療を始め、一度もお会いできていない方のお宅を訪問します。続けて、訪問診療を行

ります。午後のフェリーで戻ります。  
トピックとしては、7月の巡回診療に淀川キリスト教病院初期研修医の中村医師が同行しました。本人は沖縄も初めて、栗国も初めてとのことで、かなりの刺激になつたようです。今後とも巡回診療を続けてゆきますので、よろしくお願いいたします。



訪問先での診療



## 精神科リハビリのご紹介

精神科リハビリ課 課長 作業療法士 岸 かず子



上・お鍋を囲み美味しく頂いたジューシー会(やわらぎ病棟 リハビリ室)  
下・スタッフで「かきやで風」を披露した敬老会(合併症治療精神科病棟デイルーム)



左上・お鍋にフーチバー(よもぎ)を加えて風味豊かなジューシーを作りました  
左中・お鍋を囲み美味しく頂いたジューシー会(やわらぎ病棟 リハビリ室)  
左下・スタッフで「かきやで風」を披露した敬老会(合併症治療精神科病棟デイルーム)

上・お鍋を囲み美味しく頂いたジューシー会(やわらぎ病棟 リハビリ室)  
下・スタッフで「かきやで風」を披露した敬老会(合併症治療精神科病棟デイルーム)

左上・お鍋にフーチバー(よもぎ)を加えて風味豊かなジューシーを作りました

当院のリハビリは内科と精神科があり、内科では主に身体、精神科では心のリハビリを行っています。精神科系病棟は5つあり、それぞれの病棟を作業療法士が担当しています。作業療法(Occupational Therapy:以下OT)とは、起きてから寝るまでのひとの暮らし全般に関わることを「作業」といふ、作業やひととの関わり、環境などを用いて治療を行います。本誌では、OTで患者様が作った作品を表紙で紹介してきましたが、今回は精神科のOTではどのようなことを行っているのかを紹介したいと思います。

**\*運動・活動** 病棟でも活動を行っており、ホールなどで上映会やカラオケ、季節の行事、生活リズムを作るための体操などを行っています。

**\*休息・余暇** 各病棟にOT室があり、安心し、安全で、気持ちも体も休めるような場所づくりをしています。そこで趣味活動や调理活動を行ったり、お茶を飲んだり、集団で話し合ったりなどさまざまな活動を行っています。



**\*生活** 病棟外でも屋上庭園で外気浴や体育館で軽スポーツを行ったり、商店や喫茶店に買い物に行ったり、退院支援として自宅訪問や施設見学を行い、退院後の生活をよりイメージできるよう関わっています。



ご自宅での床からの立ち上がり練習



食事をスムーズにするための口腔体操の様子  
左上・お鍋にフーチバー(よもぎ)を加えて風味豊かなジューシーを作りました  
左中・お鍋を囲み美味しく頂いたジューシー会(やわらぎ病棟 リハビリ室)  
左下・スタッフで「かきやで風」を披露した敬老会(合併症治療精神科病棟デイルーム)

上・お鍋を囲み美味しく頂いたジューシー会(やわらぎ病棟 リハビリ室)  
下・スタッフで「かきやで風」を披露した敬老会(合併症治療精神科病棟デイルーム)

左上・お鍋にフーチバー(よもぎ)を加えて風味豊かなジューシーを作りました

**\*運動・活動** 病棟でも活動を行っており、ホールなどで上映会やカラオケ、季節の行事、生活リズムを作るための体操などを行っています。

**\*休息・余暇** 各病棟にOT室があり、安心し、安全で、気持ちも体も休めるような場所づくりをしています。そこで趣味活動や調理活動を行ったり、お茶を飲んだり、集団で話し合ったりなどさまざまな活動を行っています。

これらの活動は基本的に大・小集団で行いますが、治療初期や集団になじめない方などは必要に応じ個別で関わっています。その方の大目に想っていることや得意なこと、強みを活かし、またその方がご自身でも気が付いていない強み探しも行いながら、望む暮らしに近づけるよう他職種とも連携して支援を行っています。患者様とスタッフにとって、「オリブ山に来てよかったです」と思えるような働きができるよう、日々活動に励んでいます。

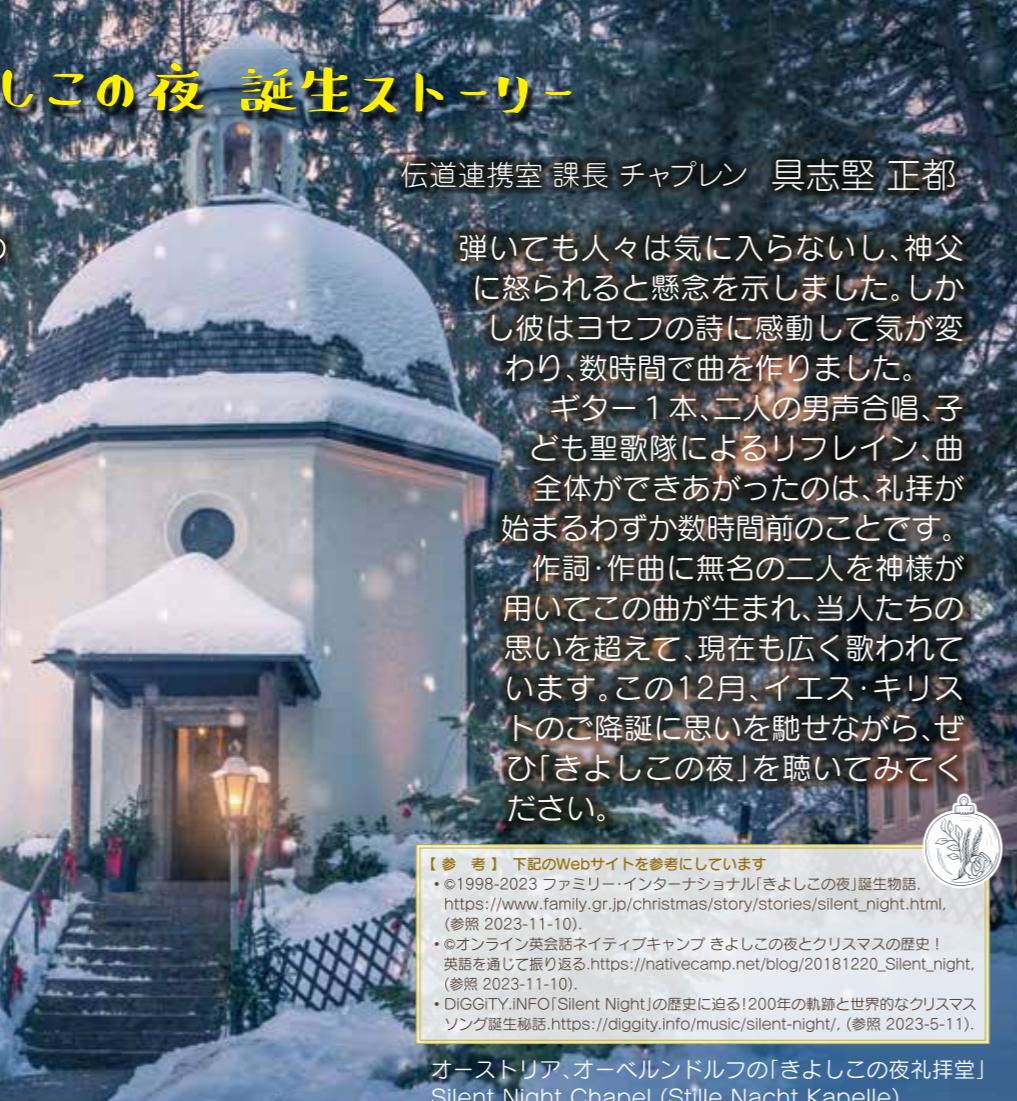


## きよしこの夜 誕生ストーリー

クリスマスになじみ深い讃美歌の一つに古くから親しまれ、世界中で歌われている「きよしこの夜」があります。

この歌は1818年12月25日にオーストリアのオーベルンドルフの聖ニコラウス教会で初演されました。しかしクリスマス・イヴの前日、その教会では重要な問題が起きていました。教会のパイプ・オルガンのふいごがネズミによって穴が開けられ、クリスマスに歌う讃美歌の伴奏ができなくなってしまったのです。困った助祭ヨセフは、以前からしたためていた「キリスト誕生の詩」を、教会オルガニストのグルーバーに渡し、この詩にギターで伴奏できる讃美歌を作曲してくれるよう頼みました。

グルーバーは、教会でギターを



伝道連携室 課長 チャップレン 具志堅 正都

弾いて人々は気に入らないし、神父に怒られると懸念を示しました。しかし彼はヨセフの詩に感動して気が変わり、数時間で曲を作りました。

ギター1本、二人の男声合唱、子ども聖歌隊によるリフレイン、曲全体ができあがったのは、礼拝が始まるわずか数時間前のことです。作詞・作曲に無名の二人を神様が用いてこの曲が生まれ、当人たちの思いを超えて、現在も広く歌われています。この12月、イエス・キリストのご降誕に思いを馳せながら、ぜひ「きよしこの夜」を聴いてみてください。

【参考】下記のWebサイトを参考にしています  
• 1998-2023 ファミリー・インターナショナル「きよしこの夜」誕生物語。[https://www.family.gr.jp/christmas/story/stories/silent\\_night.html](https://www.family.gr.jp/christmas/story/stories/silent_night.html) (参照 2023-11-10)  
• オンライン英会話ネイティブキャンプ きよしこの夜とクリスマスの歴史！英語を通じて振り返る。[https://nativecamp.net/blog/20181220\\_Silent\\_night](https://nativecamp.net/blog/20181220_Silent_night) (参照 2023-11-10)  
• DIGGITY.INFO「Silent Night」の歴史に迫る！200年の軌跡と世界的なクリスマスソング誕生秘話。<https://diggity.info/music/silent-night/> (参照 2023-5-11)

オーストリア、オーベルンドルフの「きよしこの夜礼拝堂」  
Silent Night Chapel (Stille Nacht Kapelle)



## WAKIMIZU Caféわきみずでほっと一息カフェタイム

今回は、Caféわきみずの利用者の働きについてご紹介したいと思います。

ここで働く利用者は、障がいを抱え日々の生活の中で「やり辛さ」を持った方々です。Caféわきみずで働くことで、就労に向けての取り組みが行えるだけではなく、お店に訪れるお客様を

接待する接遇マナーの学びを通して、地域社会に参加していくことを目標としております。

利用者の持つ仕事の目標や希望は異なります。悩みや困りごとなどもさまざまです。毎日、私たち職員は、利用者と共に悩み、笑い、考えて取り組んでおります。

クリスマスを迎える今年も、私たちは利用者の方々と一緒に作ったクリスマスケーキを販売することになりました。お陰様で大好評のため、すぐに完売することが予想されます。ご予約にてお早めのご注文をお願い致します。ほっと一息カフェタイムを味わっていただけるよう、皆様のご来店を心よりお待ちしております。

※オリブ山たよりをご提示いただくと、「お好きなドリンク」を三角クーポン1枚につき1杯プレゼントいたします。(サイズは何でも可)店内でのご利用に限ります。



ご予約は  
12/15(金)  
まで

お好み焼き屋「SofM」  
新規オープン! 2024.1.31  
お好み焼き屋「SofM」  
新規オープン! 2024.1.31

〒903-0804 那覇市首里石嶺町4-356-5 首里ビル2階 TEL: 098-886-2320  
営業日: 平日11:00~14:30(ラストオーダー 14:15) / 定休日: 土・日・祝日



## 外来部門のご紹介



外来部門 師長代行 仲田 泉

精神科では心の不調、心が原因の身体不調への診療を行います。落ち込みや不安、イライラ、不眠、物忘れなどで生きづらさを感じておられる方々に私たちが書き相談相手となり、住み慣れた家、地域で長く自分らしい暮らしができるようにサポートいたします。

両科とも、入院の際には医療相談室、各病棟との連携を図り、速やかな入院治療へおつなぎし、地域においても、当法人の各関連部署や他施設様との多職種連携を図り、患者様がより安心安全に暮らせるまちづくりに貢献していきたいと思っています。

聖書の言葉である「何事でも自分にしてもらいたいことは、他の人にもそのようにしなさい」の当院看護部の精神で、温かい外来を目指します😊



職員のみなさん ☺



## 介護老人保健施設オリブ園広報の取り組み

オリブ園 支援相談課 課長 介護支援専門員 堤 雄二  
内容についての意見やアイデアを出し合なが  
ら、来月の内容を話し合っています。また、昨今  
メディアでも問題になっている個人情報や表現  
方法、倫理的配慮などについても注意深く確認  
を行い、安心して楽しんでいただけるよう取り組  
んでいます。ご家族からは、「コロナでなかなか  
会えない時期もあり、元気な姿が見られて安心し  
ました」「内地にいる孫も楽しみにしています」  
など、お喜びの声を頂いており、私たちの励みと  
なっています。これからも、利用者さんの笑顔を  
届けられるよう努めていきます。



SNS委員会のみなさん



## 外来受付案内

## ● オリブ山病院

内科 内科・呼吸器内科・整形リハビリテーション科・脳神経内科(もの忘れ外来)

受付時間	月	火	水	木	金
8:30~11:30	内科 呼吸器内科	内科 整形リハビリ	内科 脳神経内科(予約)	内科 脳神経内科(予約)	内科
13:30~16:00	内科 脳神経内科(予約)	内科 整形リハビリ	予約外来 ホスピス(予約)	内科	内科 呼吸器内科

精神科 精神科・心療内科(予約優先)・児童思春期精神科

受付時間	月	火	水	木	金
8:30~11:30 (初診11:00迄)	精神科 心療内科	精神科 心療内科 児童思春期(予約)	精神科 心療内科	精神科 心療内科	精神科 心療内科
13:30~16:00 (初診15:00迄)	精神科 心療内科	精神科 心療内科 児童思春期(予約)	予約外来	精神科 心療内科	精神科 心療内科

※診療時間などは掲載時と異なる場合があります。

初めての受診の方は、こちらへお問い合わせください。医療相談室▶ 098-886-5567 (平日9:00~17:00)

## ● シャロンクリニック 内科・緩和ケア内科・整形外科・リハビリテーション科

受付時間	月	火	水	木	金
8:30~11:30	内科 緩和ケア内科	内科 整形外科 リハビリテーション科	内科	内科 整形外科※ (※第3木曜日休診) リハビリテーション科	内科 整形外科 リハビリテーション科
13:30~16:00	—	内科	内科 整形外科 リハビリテーション科	内科 整形外科※ (※第3木曜日休診) リハビリテーション科	内科 整形外科 リハビリテーション科

お問合せ／お申込み▶ 098-884-1300 (平日9:00~17:00)

## オリブ山病院までのアクセス



〒903-0804  
那霸市首里石嶺町4-356

TEL.098(886)2311  
FAX.098(886)6588

・ホームページ  
<https://oribuyama.jp/>



※こちらからホームページをご利用できます。